

東北自動車道 蓮田サービスエリア防災拠点化の概要

令和元年7月31日
東日本高速道路(株)
定例会見 資料1-2

蓮田サービスエリア(上り線)の防災機能強化

首都直下地震などの災害が発生した場合に自衛隊や消防、医療機関などの緊急出動機関の前線基地として活用

防災倉庫

駐車場利用時の規制材や夜間照明、毛布などを備蓄



ヘリポート

夜間照明設備やヘリ事務室を設置し、離着陸の安全や夜間離着陸を確保



フードコートを防災拠点本部に活用

災害時、フードコートのレイアウトを変更し防止拠点本部に活用(営業施設の耐震性強化)



停電時に備え、自家発電設備を設置



断水時に備え、井戸を設置



燃料補給に備え、タンク容量を増強



緊急開口部

緊急車両の出入り口を確保



東北自動車道 蓮田サービスエリア『防災拠点合同訓練』の実施

《訓練概要》

- ◆日時：令和元年7月18日(木) 8時～13時
- ◆場所：東北自動車道 蓮田サービスエリア(上り線)
- ◆参加機関：陸上自衛隊東部方面隊、消防庁・蓮田市消防本部・小山市消防本部(3機関)、埼玉県警本部、DMAT、日本赤十字社、日本放送協会、東日本電信電話(株)、(株)NTTドコモ、KDDI(株)、ソフトバンク(株)、東京電力ホールディングス(株)、(株)ウェザーニューズ、NEXCO東日本(全15機関・企業)
- ◆参加数：人数 約100人、車両 約50台
- ◆訓練内容：
 - ①『情報伝達訓練』・・・災害発生から防災拠点立ち上げまでの、緊急出動機関との電話による情報伝達訓練を実施。
 - ②『進出拠点設営訓練』・・・各緊急出動機関が、部隊派遣や指揮所設営、通信手段確保の訓練を実施。
 - ③『情報共有合同訓練』
・・・各緊急出動機関より、被災地への進出計画や防災拠点において提供可能な情報についての共有訓練を実施。

部隊派遣訓練



指揮所の設営



通信手段の確保



情報連携訓練



高速道路休憩施設の防災拠点化

(防災拠点化の区分)

区分	内容		整備箇所
防災機能強化エリア	機能	複数の機関(警察・消防・自衛隊・DMAT等)の利用が想定され、被災地に入る前に情報収集や共有を行うことができる「災害対策室」や「ヘリポート」など、 災害時支援エリアの防災機能をさらに強化した休憩施設	関越道 高坂SA(上) 東北道 蓮田SA(上)
	配置計画	「首都直下地震における具体的な応急対策活動に関する計画」の『進出拠点』に位置付けられた休憩施設の内、首都直下地震道路啓開計画「八方向作戦」に基づいた各路線の最大規模の休憩施設	常磐道 守谷SA(上) 東関東道 酒々井PA(上)
災害時支援エリア	機能	お客さまの一時避難や関係機関の活動支援のため、ある程度の駐車規模を有し、「 自家発電施設 」や「 給水設備 」など、 支援機能を有した休憩施設	約90カ所
	配置計画	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「首都直下地震における具体的な応急対策活動に関する計画」の『進出拠点』に位置付けられた内、防災機能強化エリア以外の休憩施設 ▶ 過去の災害で、防災拠点や参集場所として活用された休憩施設 ▶ 各都道府県の主要都市近傍の最も大きな休憩施設 	

